

# 第280回 京都歩こう会コース案内

リーダー 山田 吉澄

日時:2019年10月25日(金)

集合:JR嵯峨野線 亀岡駅 10時出発

コース:亀岡市 丹波亀山城下町宝さがしウォーク (山鉾巡行時刻:11時~13時 呉服町通・旅籠町通・柳町通)

距離:5.0km

行程:亀岡駅⇒観光案内所⇒丹波亀山城下町宝さがしゲーム⇒南郷公園(昼食)⇒亀岡駅(解散)  
|----- 4.5 -----|----- 0.5 -----| (単位:km)

(観光案内所で参加登録、城下町絵地図を見ながらヒント設置店を回りなぞ解きチャレンジ!)

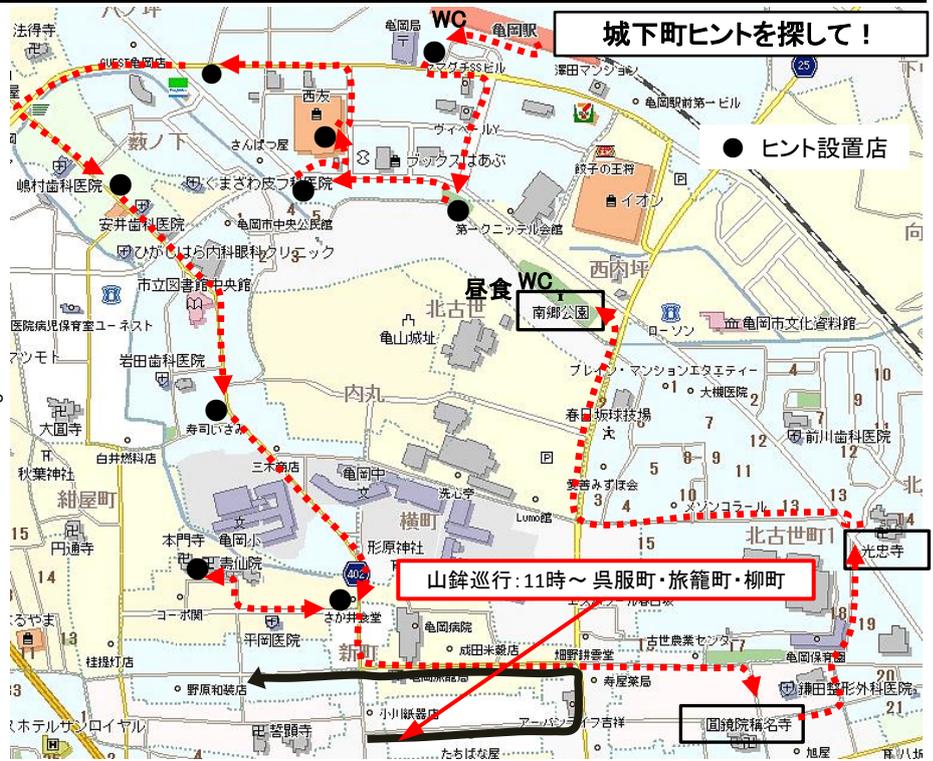
★当日亀岡祭本祭り、旧城下町は祭り一色大変混雑、山や鉾の巡行を見ながら「宝さがし」を楽しみましょう。

## 【見どころ】

●**亀岡祭り(10/23~25日):**  
城下町の秋祭りとして受け継がれています。山や鉾の提灯、祭ばやしは情緒たっぷり、渡来染織品など豪華絢爛な懸装品は見事です。「亀岡祭山鉾行事」として、京都府登録文化財に指定されています。亀岡祭は各町衆が大切に守り受け継ぎ、現在11基の山鉾が巡行しています。

●**光忠寺:**  
光忠寺は浄土宗総本山知恩院の末寺、亀山藩主の菩提寺。18世紀中頃に丹波篠山から移封された形原松平家の菩提寺。境内に御廟所があり歴代藩主の墓がある。

●**明智光秀[日向守(光秀)]:**  
戦国時代、織田信長の家臣として活躍した明智光秀。光秀は丹波亀山城主となり、亀岡の町の基礎を築いたことから市民に親しまれています。光秀といえば「本能寺の変」。逆臣、三日天下などの悪いイメージを抱く人が多い。しかし、亀山城主時代の光秀の姿には、教養豊かで誠実、知将という人物像が浮かび上がってきます。人柄を表すエピソードとしては、妻・熙子(ひろこ)との夫婦仲が挙げられます。浪人時代、生活が苦しく明智家に急な来客のとき、熙子は黒髪を売ってその場をしのぎ、夫の面目を保ちました。陰で支え続けた妻を光秀は生涯愛し続け、戦国武将としては珍しく、側室を一切持たなかったと言います。明智家の家紋は「桔梗」。花言葉は「誠実な愛」。妻や家族、家臣や領民を愛した光秀の優しさを表すかのようです。



明智光秀 銅像(私の左見よ)

稱名寺(しょうみょうじ) 薬医門

亀岡祭り山鉾巡行

## 【次回第281回ご案内】

日時:2019年11月22日 (第4金曜)  
コース:昔の風景が残る京田辺を歩く 距離:8.0 ☆  
集合:近鉄京都線・新田辺駅 午前10時出発

## 【次回下見会のご案内】

日時:2019年11月8日 (第2金曜)  
コース:なにわの宮・界隈を歩く 距離:7.0km ☆  
集合:JR大阪環状線・玉造駅 午前10時出発